

保育原理(3回目)

2023.4.24.

担当:佐々木和

<本日の(4/18)の内容>

1. 環境による保育
2. 発達に応じた保育
 - ①乳児
 - ②1歳以上3歳未満児
 - ③3歳以上児
3. 保育における個と集団への配慮
4. 発達段階・子どもの健康の安全
5. 保育計画と保育の形態

<環境による保育>

1.保育の環境の種類

資料1

○物的環境

○人的環境

○自然や社会の事象

*2014(H26)年 日本小児科医会「スマホに子守りをさせないで！」

*テキストP73～ 現代の子ども姿／生きる力の基礎とは／総合的に
行なわれる保育

＜発達に応じた保育＞

2.発達に応じた保育

- 乳児
- 1歳以上3歳未満児
- 3歳以上児

- 障がいのある子どもの保育

＜保育の基本＞

1.保育の基本

- (1) 家庭や地域と連携を図り、保護者の協力の下で家庭保育の補完を行う
- (2) 子どもたちが健康、安全で情緒の安定した生活ができるような保育環境を用意する
- (3) 子どもたちが自己を十分に発揮しながら活動できるように、個々に応じて援助する

<保育の過程とは>

1.保育の過程

どのように見通しを持ちながら、個々の子どもに応じて保育実践を展開していくのか

- (1)子どもの実態を理解する
- (2)指導計画を作成する
- (3)適切な環境を構成する
- (4)個々に適切な援助を行う
- (5)保育を反省・評価する

<子どもの健康と安全>①

1. 子どもの発達の理解

発達段階(エリクソン他)

2. 子どもの健康と安全

登園時(視診、保護者からの情報)

午睡時(突然死(SIDS:乳幼児突然死症候群)、顔色、
呼吸状態、発汗他)

預かり保育(早朝、夕方～夜)時 保育者同士の連絡、
保護者への伝達

個々の特性(アトピー性皮膚炎、アレルギー(劇症型)、
エピペン、救急対応)

看護師、嘱託医、専門医との連携他

* 健診について

＜子どもの健康と安全＞②

3. 安全保育

避難訓練(月1回実施)・・・避難(火事、地震、不審者、
引き渡し訓練他)

環境整備、安全点検、事故防止マニュアル
(インシデントレポート)

4. 食育

< 保育計画と保育形態 >

1. 保育計画、指導計画

PDCAサイクル

長期指導計画：年間指導計画、月案

短期指導計画：週案、日指導案

2. 保育形態

< 保育要領の変遷について >

幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育、保育要領について

* 保育要領(1948年:昭和23年)～幼稚園教育要領第5時改訂

* 保育指針(1952年:昭和27年)～保育所保育指針第4児改定

* 認定こども園法(2006年:平成18年)～幼保連携型認定こども園教育・保育要領

<次回について(最終回)>

1. 子どもの遊び
心理学の視点から
2. レポート、試験対策について